

2021年度第2四半期決算 電話会議 資料

2021年11月19日（金）

立ちどまらない保険。

MS&AD

INSURANCE GROUP

本日のポイント

2021年度第2四半期 業績

- 正味収入保険料は、国内損保子会社、海外保険子会社ともに増収となり、前年同期比594億円、3.2%の増収。
- 中間純利益は、国内損保子会社が保険引受利益、資産運用利益ともに増益となったこと、および海外保険子会社も前期の新型コロナ影響の剥落などから増益となったことにより281億円増益の1,248億円（進捗率54%）。グループ修正利益は526億円増益の1,837億円（進捗率61%）。

2021年度 業績予想

- 海外自然災害のインカードロスが、年初予想比で340億円増加する見込みとなった一方で、国内自然災害のインカードロスは190億円減少する見込み。
- これに伴い、当期純利益は、海外保険子会社の予想を引き下げたものの、国内損保子会社、国内生保子会社の予想を引き上げたことから、グループ連結ベースでは年初予想どおりの2,300億円。グループ修正利益も年初予想どおりの3,000億円を見込む。

株主還元

- 中間配当は前期比7円50銭増配の82円50銭、自己株式取得250億円(上限)の実施を決定。
- 2021年度決算分の年間配当予想は前期比10円増配の165円。

全体目次

2021年度第2四半期決算の概要

グループ連結	P5-12
国内損害保険会社	P13-15
国内生命保険会社	P16-17
海外保険子会社	P18
（参考）国内損害保険会社主要 2 社の業績概要	P19-21
（参考）MS Amlin 業績概要	P22
（参考）ESRの状況	P23

2021年度業績予想

グループ連結	P25-28
今回業績予想の主な前提	P29
国内損害保険会社	P30-31
国内生命保険会社	P32-33
海外保険子会社	P34
（参考）国内損害保険会社主要 2 社の概要	P35-36
（参考）MS Amlin 業績予想	P37

※決算データにつきましては、当社ホームページに掲載しています「国内損保決算データ集(Excelファイル)」もご参照ください。

2021年度第2四半期決算の概要

損保子会社

(億円)

	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	前年同期比	増収率
元受正味保険料(除く収入積立保険料)	19,997	19,731	20,276	545	2.8%
正味収入保険料	19,268	18,690	19,285	594	3.2%
三井住友海上	8,033	8,061	8,173	112	1.4%
あいおいニッセイ同和損保	6,568	6,521	6,627	105	1.6%
三井ダイレクト損保	179	180	174	△ 5	△ 3.3%
海外保険子会社	4,478	3,926	4,309	383	9.8%

生保子会社

(億円)

	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	前年同期比	増収率
保険料(グロス収入保険料)*	7,332	5,410	6,654	1,243	23.0%
三井住友海上あいおい生命	2,579	2,531	2,496	△ 34	△ 1.4%
三井住友海上プライマリー生命	4,753	2,879	4,157	1,278	44.4%
生命保険料	5,554	566	2,650	2,084	368.3%

* 保険料(グロス収入保険料)は国内生保子会社のみ

グループ連結(2021年度第2四半期)①業績の概要 1(トップライン)

(損保子会社[国内・海外])

- ・正味収入保険料は、国内損保子会社、海外保険子会社ともに増収となり、前年同期比594億円、3.2%の増収。
- ・国内損保主要2社の正味収入保険料は、火災保険や自賠償保険が減収となったものの、自動車保険や新種保険の販売好調により増収。
火災保険は、前期の大量更改契約の反動により△109億円の減収。
自動車保険は、保険料単価が2020年1月の料率改定効果の取り込みや単価アップに向けた各種施策により上昇したことに加え、契約台数がテレマ商品の推進や前年の反動により増加したこともあり171億円の増収。
新種保険は、大口契約の獲得、中小企業向けパッケージ商品の販売増を主因に169億円の増収。
自賠償保険は、料率改定の影響などにより△73億円の減収。
- ・海外保険子会社は、引受厳選による減収等もあったものの、料率引上げや為替影響等により383億円の増収。

(国内生保子会社)

- ・MSA生命:16ページを参照。MSP生命:17ページを参照。

（億円）

	2020年度		2021年度		2021年度通期（今回予想）	進捗率
	第2四半期	第2四半期	前年同期比	増減率		
経常利益	1,155	1,821	666	57.7%		
三井住友海上	735	1,072	336	45.8%		
あいおいニッセイ同和損保	87	298	211	241.4%		
三井ダイレクト損保	26	18	△ 8	△ 30.8%		
三井住友海上あいおい生命	140	180	40	28.9%		
三井住友海上プライマリー生命	392	236	△ 156	△ 39.8%		
海外保険子会社	△ 47	119	167	-		
その他・連結調整等	△ 179	△ 103	75	-		
中間純利益※	966	1,248	281	29.2%	2,300	54.3%
三井住友海上	561	822	260	46.4%	1,380	59.6%
あいおいニッセイ同和損保	52	191	138	262.8%	480	39.8%
三井ダイレクト損保	21	14	△ 7	△ 33.7%	2	710.3%
三井住友海上あいおい生命	88	116	27	31.5%	180	64.5%
三井住友海上プライマリー生命	266	171	△ 94	△ 35.6%	250	68.5%
海外保険子会社	△ 114	49	164	-	390	12.8%
その他・連結調整等	90	△ 116	△ 206	△ 228.8%	△ 382	-

※連結の中間純利益は、親会社株主に帰属する中間純利益。子会社の中間純利益は出資持分ベース。以下同じ。

グループ連結（2021年度第2四半期）①業績の概要 2（ボトムライン）

< 中間純利益 >

（グループ連結）

- ・中間純利益は1,248億円。海外自然災害ロスが増加したものの、国内損保主要2社が国内自然災害ロスの減少や資産運用損益の増加などから増益となったことに加え、海外保険子会社も新型コロナ影響の剥落などにより増益となったことから281億円の増益。

（国内損保主要2社）

- ・保険引受利益は、自動車保険のロスが前期の新型コロナ影響の剥落により増加したものの、販売好調によるアード保険料の増加や国内自然災害ロスの減少を主因に377億円の増益。
- ・資産運用・その他収支は、有価証券評価損が増加した一方で、利配収入や有価証券売却益が増加したことにより170億円の増益。
- ・中間純利益は、398億円増益の1,013億円。

（国内生保子会社）

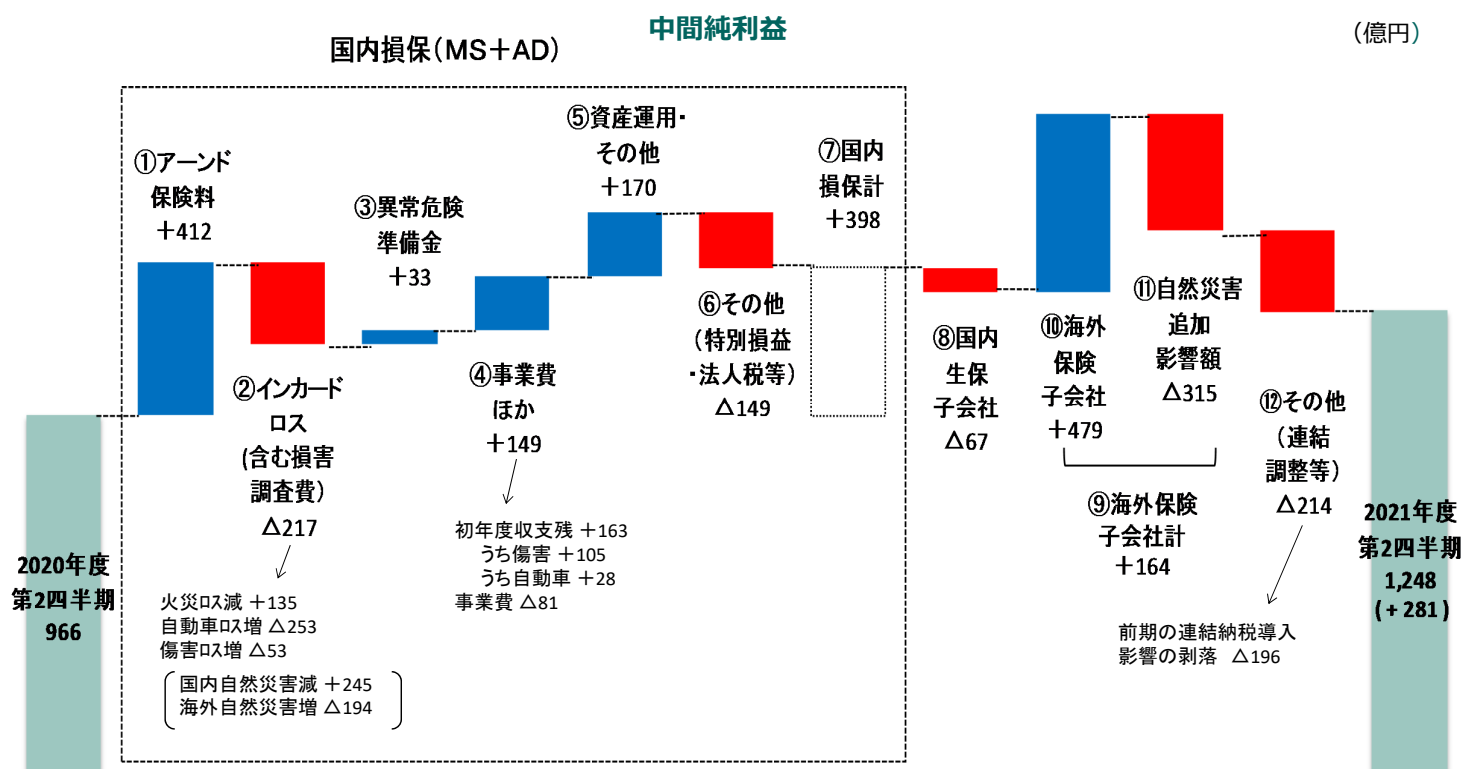
- ・MSA生命：16ページを参照、MSP生命：17ページを参照

（海外保険子会社）

- ・海外保険子会社：18ページを参照、MS Amlin：22ページを参照

グループ連結（2021年度第2四半期）②前年同期との比較 1

- ・国内損保主要2社(⑦)は、アード保険料の増加(①)および資産運用・その他(⑤)の増加などにより398億円の増益。海外保険子会社(⑨)も、自然災害のロスが増加したものの、前期の新型コロナ影響の剥落および資産運用損益の増加により164億円の増益。
- ・中間純利益は、国内損保(⑦)と海外保険子会社(⑨)の増益などにより281億円の増益。



グループ連結（2021年度第2四半期）②前年同期との比較 2

中間純利益の内訳

	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	前年同期比
中間純利益	966	1,248	281
国内損保 ^{※1} 保険引受利益(除く家計地震・自賠責)	108	486	377
アード保険料 ①	12,405	12,818	412
インカードロス(含む損害調査費) ②	Δ 7,330	Δ 7,548	Δ 217
異常危険準備金損益 ③	Δ 609	Δ 576	33
事業費ほか ^{※2} ④	Δ 4,356	Δ 4,207	149
資産運用・その他 ⑤	714	884	170
その他(特別損益・法人税等) ⑥	Δ 208	Δ 357	Δ 149
国内損保計 ⑦	614	1,013	398
国内生保子会社 ⑧	354	287	Δ 67
海外保険子会社 ⑨	Δ 114	49	164
海外保険子会社(現地決算期ベース) ⑩	Δ 114	365	479
自然災害追加影響額 ⑪	-	Δ 315	Δ 315
その他(連結調整等) ⑫	111	Δ 102	Δ 214

※1 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の合計

※2 「事業費ほか」には、為替損益などが含まれる

グループ連結（2021年度第2四半期）③グループ修正利益

- ・グループ修正利益は、国内損保事業や海外事業が増益となったことから、国内生保事業が減益となったものの526億円の増益。
- ・海外事業の進捗率は自然災害ロスの追加計上の影響により27.7%であるが、下半期は損害率の良化などを見込み、通期で500億円の利益を見込む。

(億円)

	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期		2021年度通期(今回予想)	
			前年同期比	進捗率	
グループ修正利益 ※1	1,310	1,837	526	3,000	61.2%
国内損保事業	1,024	1,386	362	1,990	69.7%
国内生保事業	362	296	△ 65	450	66.0%
海外事業	△ 101	138	239	500	27.7%
金融サービス事業/リスク関連事業	25	14	△ 10	60	24.5%

※1「グループ修正利益」の定義は最終ページご参照。なお「グループ修正ROE」は年度末に開示。

(参考)

$$\text{グループ修正利益 } 1,837 = \text{連結中間純利益 } 1,248 + \text{異常危険準備金等繰入・戻入額}^{\ast 2} 441 - \text{その他特殊要因}^{\ast 3} \Delta 145 + \text{非連結グループ会社持分利益 } 1$$

※2 繰入の場合は加算、戻入の場合は減算

※3 のれん償却等△121

グループ連結（2021年度第2四半期）④当年度発生自然災害ロス

- ・国内の自然災害ロスは△245億円減少の313億円。
- ・海外の自然災害ロスは、7月に発生した欧州洪水、8月末から9月初めにかけて発生したハリケーン・アイダによる海外子会社でのインカードロスを追加計上し、479億円増加の570億円。

国内自然災害の影響

(億円)

	インカードロス			インカードロス	
	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	前年同期比	2021年度 通期予想	年初予想比
三井住友海上	342	186	△ 155	310	△ 90
あいおいニッセイ同和損保	216	127	△ 89	200	△ 100
合計	558	313	△ 245	510	△ 190

海外自然災害の影響

	インカードロス			インカードロス		
	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	前年同期比	2021年度 通期予想	年初予想比	
あいおいニッセイ同和損保	73	218	145	275	145	
MS Amlin	17	96	79	465	135	
上記以外(三井住友海上、海外子会社)	-	50	50	59	59	
海外子会社の自然災害追加影響額 ^{※1}	-	324	324	-	-	(参考:2021年度第2四半期)
連結調整 ^{※2}	-	△ 120	△ 120	△ 120	-	欧州洪水 ハリケーン・アイダ [*]
合計	90	570	479	680	340	231 331

※1 海外保険子会社(12月決算)の2021年度第3四半期に発生した欧州洪水およびハリケーン・アイダに係る追加計上額(うちMS Amlinは314億円)。

※2 連結調整は、2020年度に追加計上した2021年2月北米寒波に係る損害見込額の戻入。

※ 海外自然災害の集計範囲は社内管理ベース。三井住友海上は欧州洪水およびハリケーン・アイダに限る。

国内・海外自然災害の影響の合計

	インカードロス			インカードロス	
	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	前年同期比	2021年度 通期予想	年初予想比
合計	649	884	234	1,190	150

国内損害保険会社（2021年度第2四半期）①主要2社の業績概要 1

・ 保険引受利益は、自動車保険や海外自然災害のロスが増加したものの、アード保険料の増加、国内自然災害のロスの減少などにより377億円の増益。

(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保(単体)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
正味収入保険料 ^{※1}	14,801	218	8,173	112	6,627	105
アード保険料 ^{※2}	12,818	412	7,110	227	5,707	185
インカードロス(含む損害調査費) ^{※2}	(-)	7,548	4,139	112	3,408	105
保険引受に係る事業費 ^{※2}	(-)	4,449	2,409	44	2,039	36
諸手数料及び集金費 ^{※2}	2,809	91	1,495	48	1,313	43
営業費及び一般管理費 ^{※2}	1,640	△ 10	914	△ 3	726	△ 6
保険引受利益(異常危険準備金反映前)	1,062	344	763	234	298	109
異常危険準備金損益	△ 576	33	△ 329	△ 28	△ 247	61
保険引受利益	486	377	434	206	51	171
EI損害率 ^{※2}	58.9%	△ 0.2pt	58.2%	△ 0.3pt	59.7%	△ 0.1pt
正味損害率 ^{※1}	56.0%	1.2pt	55.2%	0.3pt	56.9%	2.2pt
正味事業費率 ^{※1}	32.8%	0.2pt	31.8%	0.3pt	34.2%	0.2pt
コンバインド・レシオ ^{※1}	88.8%	1.4pt	87.0%	0.6pt	91.1%	2.4pt

※1 全種目ベース

※2 除く家計地震・自賠責ベース

※ アード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

国内損害保険会社（2021年度第2四半期）①主要2社の業績概要 2

・ 資産運用・その他収支は、有価証券評価損が増加したものの、利配収入や有価証券売却益の増加により170億円増加。

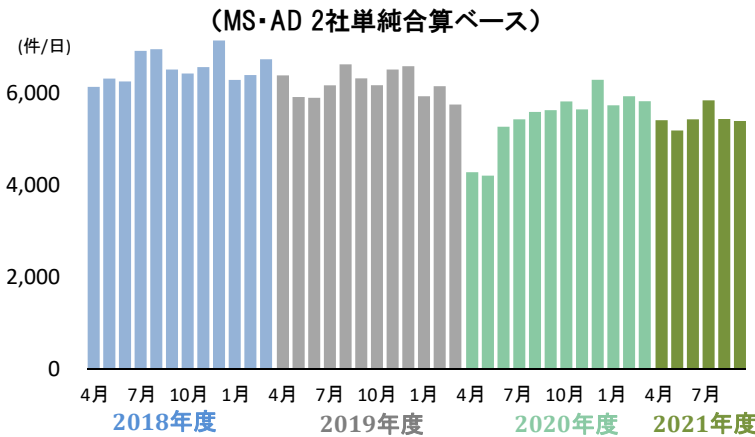
(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保(単体)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
保険引受利益	486	377	434	206	51	171
ネット利息及び配当金収入	727	181	526	175	201	5
有価証券売却損益	467	147	372	157	94	△ 10
有価証券評価損 (-)	224	188	194	184	29	3
資産運用・その他収支	884	170	637	130	247	39
経常利益	1,370	547	1,072	336	298	211
特別損益	△ 69	5	△ 26	△ 5	△ 42	10
税引前中間純利益	1,301	553	1,045	331	256	221
法人税等	288	154	223	71	64	83
中間純利益	1,013	398	822	260	191	138
(参考)政策株式売却額	549	122				

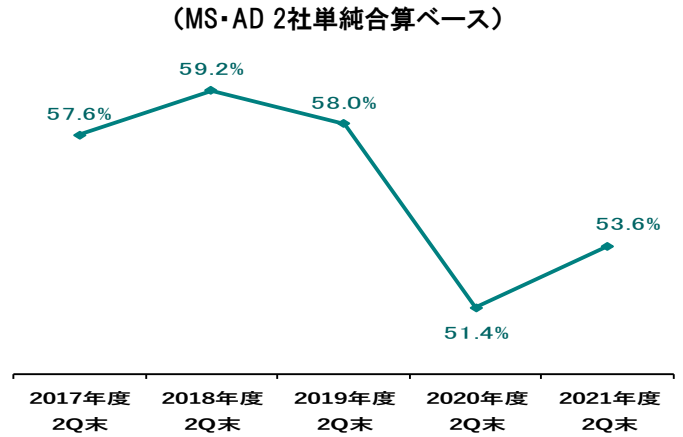
国内損害保険会社（2021年度第2四半期）②自動車保険の状況

- ・事故件数は、外出自粛による交通量減少によって大きく減少した昨年の反動で、第2四半期累計で前年同期比7.2%の増加。ただし、2019年度の第2四半期累計との比較では△11.7%の減少。
- ・EI損害率は2.2pt上昇の53.6%。

事故件数の推移（国内、1日あたり、除く自然災害）



EI 損害率の推移（含む損害調査費）



保険料・保険金

三井住友海上

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.4%	△0.1%	+0.4%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+0.6%	+1.0%	

あいおいニッセイ同和損保

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.7%	+0.2%	+0.9%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+0.3%	+0.5%	

※ 保険料増減要因の諸数値は営業成績ベース（4-9月）の対前年同期比

※ 保険金単価の増減は、2021年3月末過去1年間の保険金単価に対する、2021年9月末過去1年間の保険金単価の増減を表示

※ EI損害率算出対象期間は、各年度の4-9月

国内生命保険会社 三井住友海上あいおい生命（2021年度第2四半期）業績概要

- ・新契約年換算保険料は、収入保障系商品や法人向けの定期保険の販売増等により、前年同期比11.7%の増収。なお、2019年度同期比では△5.8%となる。
- ・中間純利益は、保有契約の経過・解約等に伴う責任準備金繰入負担の減少や代理店手数料の減少などにより27億円の増益。

三井住友海上あいおい生命

（億円）

	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	前年同期差	
				前年同期差	増減率
新契約高（個人合計）	10,645	8,304	9,004	699	8.4%
新契約年換算保険料	146	123	138	14	11.7%
うち 第三分野	102	69	73	3	5.3%
保有契約高（個人合計）	-（2021年度期首）	242,669	241,184	△1,484	△0.6%
保有契約年換算保険料	-（2021年度期首）	4,479	4,462	△16	△0.4%
うち 第三分野	-（2021年度期首）	1,460	1,497	37	2.5%
保険料（グロス収入保険料）	2,579	2,531	2,496	△34	△1.4%
経常利益	96	140	180	40	28.9%
特別損益	△5	△5	△6	△1	-
中間純利益	51	88	116	27	31.5%
基礎利益	81	121	165	43	35.9%
EEV*	-（2021年度期首）	9,583	10,121	538	
参考：EEV(UFR適用した場合)	-（2021年度期首）	10,653	10,983	330	

※ 第2四半期のEEVは、一部簡易な計算による試算値。また、第三者機関の検証は受けておりません。

国内生命保険会社 三井住友海上プライマリー生命（2021年度第2四半期）業績概要

- ・グロス収入保険料は、新型コロナ影響が継続する中、非対面を組み合わせた営業活動の積極展開により44.4%増収。なお、2019年度同期比では△12.5%となる。
- ・中間純利益は、運用目標値に到達した契約が多数発生した前年同期に比べ責任準備金繰入負担が増加したことなどにより△94億円減益の171億円。

三井住友海上プライマリー生命

(億円)

	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	前年同期比	
				前年同期比	増減率
新契約高（個人合計）	4,795	2,883	4,179	1,296	44.9%
保有契約高（個人合計）	-（2021年度期首）	65,958	65,170	（2021年度期首比）△788	△1.2%
保険料（グロス収入保険料）	4,753	2,879	4,157	1,278	44.4%
経常利益	20	392	236	△156	△39.8%
特別損益	135	△24	-	24	-
価格変動準備金繰入・戻入	135	△24	-	24	-
中間純利益	113	266	171	△94	△35.6%

金利・為替影響

(億円)

	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期
金利影響	△209	124	13
為替影響	55	△118	△11
合計*	△153	5	1

* 有価証券売却損益を含む(2020年度第2四半期 +408億円、2021年度第2四半期 +57億円)

海外保険子会社（2021年度第2四半期）業績概要

- ・正味収入保険料は、引受厳選による減収等もあったものの、料率引上げや為替影響等により383億円の増収。
- ・現地決算期ベース利益は、前期の新型コロナ影響の剥落等により欧州、海外生保を中心に479億円の増益。
- ・中間純利益は、自然災害のロスを追加計上したことから164億円の増益。MS AmlinについてはP22を参照。

海外保険子会社

(億円)

	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	前年同期比	
				前年同期比	増減率
正味収入保険料	4,478	3,926	4,309	383	9.8%
アジア	926	870	887	17	2.0%
欧州	3,319	2,850	3,202	352	12.4%
米州	232	205	219	14	7.1%
中間純利益	301	△114	49	164	-
現地決算期ベース利益	301	△114	365	479	-
アジア	93	148	157	9	6.3%
欧州 ^{※1}	137	△211	73	285	-
米州	15	12	29	17	141.3%
海外生保	54	△63	104	167	-
自然災害追加影響額 ^{※2}	-	-	△315	△315	-

※1 2021年度第2四半期実績(73億円)は、2020年度の連結決算に追加計上した北米寒波ロスの影響(△101億円)を含む。
同影響を除いた中間純利益は175億円。

※2 海外保険子会社(12月決算)の2021年度第3四半期に発生した欧州洪水およびハリケーン・アイダに係る追加計上による税引後利益影響額。

(ご参考) 国内損害保険会社 (2021年度第2四半期) 主要2社の業績概要 1

正味収入保険料

(億円)

	2社合計(単純合計)			三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ 同和損保(単体)	
	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	増収率	2021年度 第2四半期	増収率	2021年度 第2四半期	増収率
火災	2,371	2,262	Δ4.6%	1,229	Δ3.3%	1,033	Δ6.2%
海上	308	341	10.5%	304	13.0%	37	Δ6.1%
傷害	1,066	1,092	2.5%	782	2.3%	309	2.9%
自動車	7,056	7,228	2.4%	3,458	1.3%	3,769	3.5%
自賠責	1,551	1,477	Δ4.7%	766	Δ6.1%	711	Δ3.2%
その他	2,229	2,399	7.6%	1,632	7.0%	766	9.0%
合計	14,583	14,801	1.5%	8,173	1.4%	6,627	1.6%
除く家計地震・自賠責	13,029	13,321	2.2%	7,406	2.2%	5,915	2.2%

(ご参考) 国内損害保険会社 (2021年度第2四半期) 主要2社の業績概要 2

EI損害率 (2社単純合算)

	EI損害率			EI損害率(除く自然災害影響)		
	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	前期比	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	前期比
火災 (除く家計地震)	89.0%	77.3%	Δ11.7pt	61.9%	53.2%	Δ8.7pt
海上	54.1%	65.0%	10.9pt	54.0%	64.9%	10.9pt
傷害	48.8%	54.0%	5.2pt	48.8%	54.0%	5.2pt
自動車	51.4%	53.6%	2.2pt	50.9%	53.2%	2.3pt
その他	61.2%	59.1%	Δ2.1pt	60.5%	58.4%	Δ2.1pt
合計 (除く家計地震・自賠責)	59.1%	58.9%	Δ0.2pt	54.2%	54.4%	0.2pt

※ インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカードロスの合計から2018年度発生自然災害に係るキャットボンド回収額を控除したものを指す

(ご参考) 国内損害保険会社 (2021年度第2四半期) 主要2社の業績概要 3

EI損害率 (三井住友海上 (単体)、あいおいニッセイ同和損保 (単体))

	EI損害率				EI損害率 (除く自然災害影響)			
	三井住友海上 (単体)		あいおいニッセイ同和損保 (単体)		三井住友海上 (単体)		あいおいニッセイ同和損保 (単体)	
		前期比		前期比		前期比		前期比
火災 (除く家計地震)	70.0%	Δ12.1pt	86.0%	Δ10.9pt	52.7%	Δ3.4pt	53.9%	Δ14.7pt
海上	64.5%	12.2pt	68.5%	Δ0.9pt	64.5%	12.4pt	68.5%	Δ0.9pt
傷害	55.0%	7.3pt	51.7%	0.4pt	55.0%	7.3pt	51.7%	0.4pt
自動車	54.8%	2.4pt	52.5%	2.1pt	54.5%	2.6pt	52.0%	2.0pt
その他	57.1%	Δ4.6pt	63.4%	3.2pt	56.4%	Δ4.5pt	62.7%	3.2pt
合計 (除く家計地震・自賠責)	58.2%	Δ0.3pt	59.7%	Δ0.1pt	55.0%	1.0pt	53.7%	Δ0.9pt

※ インカドロス = 正味支払保険金 + 損害調査費 + 支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアード (既経過) 保険料は、未経過保険料 (除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカドロスの合計から2018年度発生自然災害に係るキャットボンド回収額を控除したもの

(ご参考) MS Amlin 2021年度第2四半期 (2021年1-6月期) 業績概要※1

- グループ修正利益 (連結決算) は、第2四半期に追加計上した欧州洪水およびハリケーン・アイダを主因に Δ101百万ポンドとなった。(追加計上前は、102百万ポンドの黒字)
- 追加計上した上記大口ロスを除く中間純利益は33百万ポンドとなり、前年同期比ではコロナロスの減少や、AUL (ロイズ事業) における一般リスクの改善を主因として、187百万ポンド改善した。

	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	(百万ポンド)
			前年同期比
正味収入保険料	1,895	1,922	27
アード保険料	1,445	1,294	Δ151
インカドロス (含む損害調査費)	1,132	830	Δ302
手数料・社費	495	457	Δ38
保険引受利益	Δ156	1	157
資産運用損益※2	41	66	24
その他損益※3	Δ42	Δ38	4
中間純利益	Δ154	33	187
グループ修正利益 (欧州洪水、北米ハリケーン影響の追加計上前)	Δ154	102	256
グループ修正利益 (欧州洪水、北米ハリケーン影響の追加計上後)※4	Δ154	Δ101	53
EI 損害率※5	78.4%	64.1%	Δ14.3pt
EI 事業費率※5	32.4%	35.8%	3.4pt
EI コンバインド・レシオ※5	110.8%	99.9%	Δ10.9pt

※1 現地管理ベース

※2 MS Amlinは有価証券の時価変動を損益に反映させる会計処理方法を採用

※3 保険事業会社以外で生じる経費等

※4 2021年度実績は、2020年度に連結決算上追加計上した北米寒波ロス影響の戻入 +69百万ポンド、当第2四半期に追加計上した欧州洪水影響 Δ87百万ポンド、北米ハリケーン影響 Δ116百万ポンドを反映したベース

※5 EI 事業費率およびEI コンバインド・レシオは、現地管理に合わせて保険引受利益に含まれる為替差損益を含めて算出。2021年度のEI損害率、EIコンバインド・レシオ実績には、北米寒波ロス影響は含むが、欧州洪水影響・北米ハリケーン影響は含まれていない。

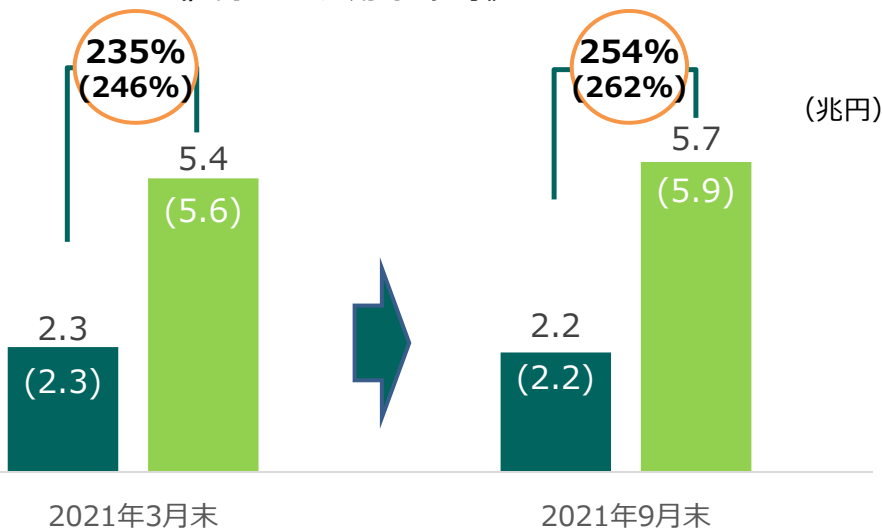
	(百万ポンド)	
	2020年度	2021年度 第2四半期
新型コロナに係るインカドロス	313	46

(ご参考) ESRの状況

ESR^(注1)

■ 統合リスク量^(注2) ■ 時価純資産

() 内はUFR適用時の参考値



<ESRの主な増減要因> (2021年3月末対比)

ESRは、主に以下の要因により19pt上昇。

- ✓ 内部留保の増加に伴う時価純資産の増加。
- ✓ 超長期債購入等によるALMの推進に伴う統合リスク量の減少。

<市場環境前提>

	2021年 3月末	2021年 9月末	対2021年 3月末比
日経平均株価	29,179円	29,453円	+274円
国債30年金利	0.67%	0.68%	+0.01pt
為替 (ドル円)	111円	112円	+1円

(注1) ESR : エコノミック・ソルベンシー・レシオ (= 時価純資産 ÷ 統合リスク量)

(注2) 統合リスク量 : 信頼水準99.5%のVaR (Value at Risk) でリスク量を計測。

2021年度業績予想

グループ連結（2021年度業績予想）①概要1（トップライン）

- ・ 損保子会社の正味収入保険料は、国内損保子会社を引き上げたものの、海外保険子会社が為替影響などから年初計画を下回る見込みとなったことにより年初予想比△330億円の引き下げ。
- ・ 生保子会社のグロス収入保険料は、販売の拡大により550億円の引き上げ。

損保子会社

(億円)

	2020年度	2021年度 (年初予想)	2021年度(今回予想)			
			前期比	増収率	年初予想比	
正味収入保険料	35,009	36,130	35,800	790	2.3%	△ 330
三井住友海上	15,595	15,660	15,700	104	0.7%	40
あいおいニッセイ同和損保	12,814	12,870	12,890	75	0.6%	20
三井ダイレクト損保	364	364	364	-	-	-
海外保険子会社	6,235	7,240	6,850	614	9.9%	△ 390

生保子会社

(億円)

	2020年度	2021年度 (年初予想)	2021年度(今回予想)			
			前期比	増収率	年初予想比	
保険料(グロス収入保険料)*	12,973	12,000	12,550	△ 423	△ 3.3%	550
三井住友海上あいおい生命	5,119	5,000	5,050	△ 69	△ 1.4%	50
三井住友海上プライマリー生命	7,854	7,000	7,500	△ 354	△ 4.5%	500
生命保険料	△ 2,023	6,700	6,450	8,473	-	△ 250

* 保険料(グロス収入保険料)は国内生保子会社のみ

グループ連結（2021年度業績予想）①概要2（ボトムライン）

- ・ 海外保険子会社を引き下げた一方、国内損保子会社と国内生保子会社を引き上げたことなどから、年初予想どおりの2,300億円。

(億円)

	2020年度	2021年度 (年初予想)	2021年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
経常利益	3,065	3,300	3,300	234	-
三井住友海上	1,316	1,750	1,820	503	70
あいおいニッセイ同和損保	324	650	720	395	70
当期純利益*	1,443	2,300	2,300	856	-
三井住友海上	922	1,310	1,380	457	70
あいおいニッセイ同和損保	216	430	480	263	50
三井ダイレクト損保	8	1	2	△ 6	1
三井住友海上あいおい生命	119	180	180	60	-
三井住友海上プライマリー生命	431	230	250	△ 181	20
海外保険子会社	△ 31	550	390	421	△ 160
その他・連結調整等	△ 221	△ 401	△ 382	△ 160	19
ROE(財務会計ベース)	5.2%	7.3%	7.2%	2.0pt	△ 0.1pt

* 連結の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益。子会社の当期純利益は出資持分ベース。以下同じ。

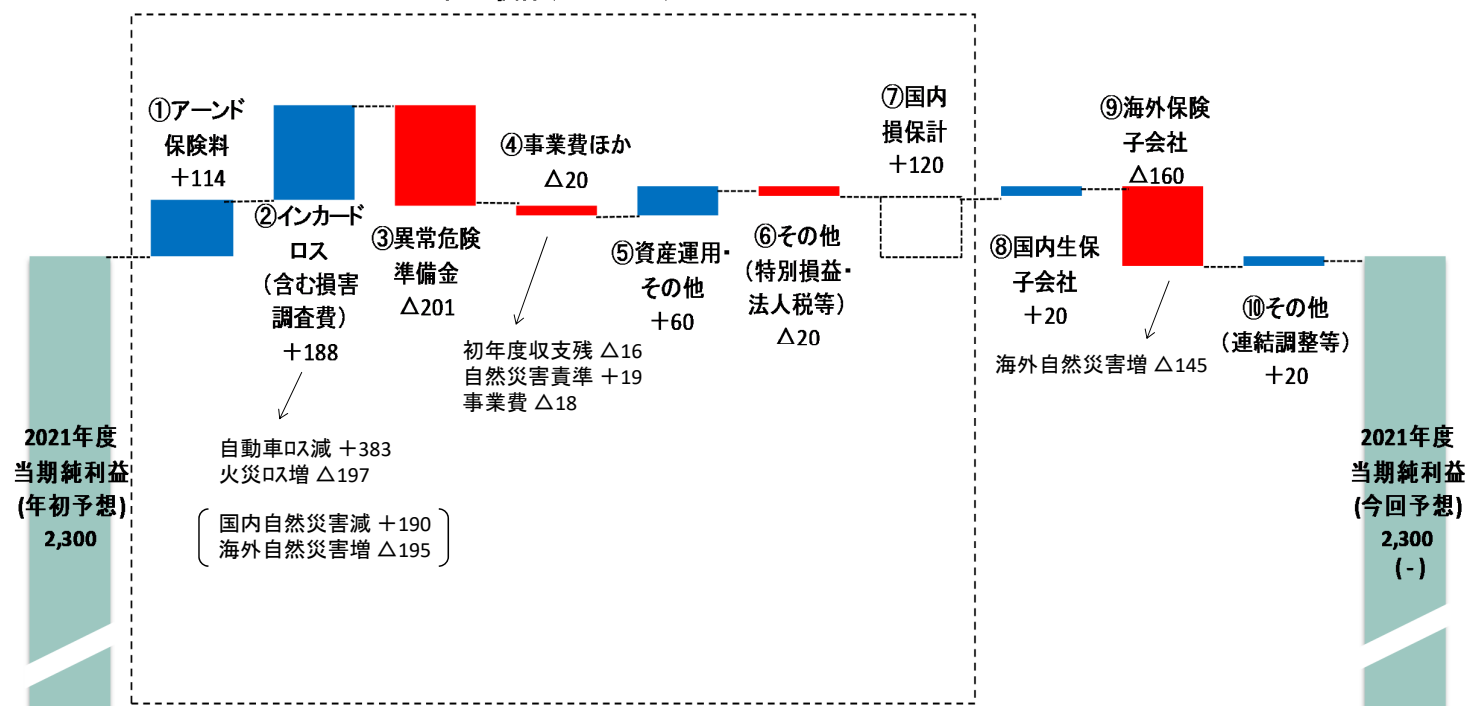
グループ連結（2021年度業績予想）②年初予想との比較

- ・国内損保は、販売好調によるアード保険料(①)の増加、自動車保険のインカードロスの減少、利配収入および有価証券売却益の増加による資産運用・その他(⑥)の増加などがプラス要因となり年初予想比120億円の引き上げ。
- ・海外保険子会社(⑨)は自然災害のロスの増加等により△160億円の引き下げとなったものの、当期純利益は年初予想どおりの2,300億円。

連結純利益の年初予想比増減要因

(億円)

国内損保(MS+AD)



グループ連結（2021年度業績予想）③グループ修正利益

- ・グループ修正利益は、海外事業を引き下げたものの、国内損保事業、国内生保事業を引き上げたことから、年初予想どおりの3,000億円。

(億円)

	2020年度	2021年度 (年初予想)	2021年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
グループ修正利益	2,146	3,000	3,000	853	-
国内損保事業	1,585	1,710	1,990	404	280
国内生保事業	569	430	450	△ 119	20
海外事業	△ 71	800	500	571	△ 300
金融サービス事業/リスク関連事業	61	60	60	△ 1	-
その他経営数値目標					
MSA生命 EEV	9,583	10,100	9,630	46	△ 470
グループ修正ROE	6.7%	8.5%	8.5%	1.8pt	-

今回業績予想の主な前提

	三井住友海上	あいおいニッセイ同和損保
市場環境の前提	2021年9月末の水準を想定 〔 参考(2021年9月末) 日経平均 29,453円、米ドル 112円、ユーロ 130円、英ポンド 150円 〕	
国内自然災害	310億円 (△ 90億円)	200億円 (△ 100億円)
異常危険準備金 (火災保険)	繰入 225億円 (+ 6億円)	331億円 (+ 10億円)
	取崩 242億円 (△ 15億円)	279億円 (△ 17億円)
	積増 △ 17億円 (+ 21億円)	52億円 (+ 27億円)
異常危険準備金 (自動車保険)	繰入 221億円 (△ 2億円)	241億円 (+ 1億円)
	取崩 - (△ 4億円)	- (△ 99億円)
	積増 221億円 (+ 2億円)	241億円 (+ 100億円)
法定実効税率	27.9%	

※ 海外自然災害について、MS Amlin・連結調整は345億円(+135億円)。

あいおいニッセイ同和損保は275億円(+145億円)。

※ ()内は年初予想比

国内損害保険会社（2021年度業績予想）主要2社の概要 1

(億円)

	2社合計(単純合計)			三井住友海上(単体)			あいおいニッセイ同和損保(単体)			
		前期比	年初予想比		前期比	年初予想比		前期比	年初予想比	
正味収入保険料 ^{※1}	28,590	180	60	15,700	104	40	12,890	75	20	
アード保険料 ^{※2}	25,700	740	114	14,246	436	55	11,454	303	59	
インカードロス(含む損害調査費) ^{※2}	(-)	15,301	208	△ 188	8,409	14	△ 37	6,892	194	△ 151
保険引受に係る事業費 ^{※2}	(-)	8,916	116	18	4,840	82	△ 5	4,076	34	23
諸手数料及び集金費 ^{※2}		5,437	81	20	2,886	49	2	2,551	32	18
営業費及び一般管理費 ^{※2}		3,479	34	△ 2	1,954	32	△ 7	1,525	1	5
保険引受利益(異常危険準備金反映前)	1,646	878	281	1,031	471	96	615	406	185	
異常危険準備金損益	△ 646	7	△ 201	△ 361	△ 40	△ 46	△ 285	48	△ 155	
保険引受利益	1,000	885	80	670	430	50	330	454	30	
EI損害率 ^{※2}	59.5%	△ 1.0pt	△ 1.0pt	59.0%	△ 1.8pt	△ 0.5pt	60.2%	0.1pt	△ 1.6pt	
正味損害率 ^{※1}	60.7%	1.4pt	△ 2.0pt	60.4%	0.6pt	△ 1.6pt	61.2%	2.6pt	△ 2.3pt	
正味事業費率 ^{※1}	34.0%	0.3pt	-	33.1%	0.4pt	△ 0.1pt	35.1%	0.2pt	0.1pt	
コンパインド・レシオ ^{※1}	94.7%	1.7pt	△ 2.0pt	93.5%	1.0pt	△ 1.7pt	96.3%	2.8pt	△ 2.2pt	

※1 全種目ベース

※2 除く家計地震・自賠責ベース

※ アード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

国内損害保険会社（2021年度業績予想）主要2社の概要 2

(億円)

	2社合計(単純合計)			三井住友海上(単体)			あいおいニッセイ同和損保		
		前期比	年初 予想比		前期比	年初 予想比	(単体)	前期比	年初 予想比
保険引受利益	1,000	885	80	670	430	50	330	454	30
ネット利息及び配当金収入	1,292	172	151	924	216	121	368	△ 43	30
有価証券売却損益	781	108	111	606	108	76	175	0	35
有価証券評価損 (一)	292	273	212	207	198	177	85	75	35
資産運用・その他収支	1,540	13	60	1,150	73	20	390	△ 59	40
経常利益	2,540	899	140	1,820	503	70	720	395	70
特別損益	△ 146	△ 76	△ 7	△ 56	△ 62	△ 12	△ 90	△ 13	5
当期純利益	1,860	721	120	1,380	457	70	480	263	50

国内生命保険会社 三井住友海上あいおい生命（2021年度業績予想）

主要項目

(億円)

	2020年度	2021年度 (年初予想)	2021年度(今回予想)	
			増減率/前期差	年初予想比
新契約高 [※]	17,690	18,977	18,500	4.8% △477
新契約年換算保険料 [※]	262	294	291	10.7% △3
保有契約高 [※]	242,669	243,322	241,700	△0.4% △1,622
保有契約年換算保険料 [※]	4,479	4,462	4,455	△0.6% △7
保険料(グロス収入保険料)	5,119	5,000	5,050	△1.3% 50
経常利益	256	352	356	100 4
当期純利益	119	180	180	61 -

※新契約高、新契約年換算保険料、保有契約高、保有契約年換算保険料は、個人保険・個人年金保険の合計

主要項目

(億円)

	2020年度	2021年度 (年初予想)	2021年度(今回予想)		
				増減率/前期比	年初予想比
新契約高	7,882	7,034	7,546	△ 4.3%	511
保有契約高	65,958	63,990	63,990	△ 3.0%	-
保険料(グロス収入保険料)	7,854	7,000	7,500	△ 354	500
経常利益	1,600	354	344	△ 1,257	△ 10
当期純利益	431	230	250	△ 181	20

海外保険子会社（2021年度業績予想）

- ・ 正味収入保険料は、欧州の予想を引き下げたことなどから△390億円の引き下げ。
- ・ 当期純利益は、アジアや海外生保を引き上げたものの、欧州を自然災害ロスが増加等から引き下げたことを主因に△160億円の引き下げ。

海外保険子会社

(億円)

	2020年度	2021年度 (年初予想)	2021年度(今回予想)		
				前期比	年初予想比
正味収入保険料	6,235	7,240	6,850	614	△ 390
アジア	1,693	1,829	1,793	98	△ 36
欧州	4,133	4,935	4,602	468	△ 333
米州	407	475	455	47	△ 20
当期純利益	△ 31	550	390	421	△ 160
アジア	239	253	272	32	19
欧州	△ 311	130	△ 73	238	△ 203
米州	42	50	47	4	△ 3
海外生保	△ 2	116	144	146	28

(ご参考) 国内損害保険会社（2021年度業績予想）主要2社の概要 1

正味収入保険料

(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保	
		増収率		増収率	(単体)	増収率
火災	4,247	Δ3.7%	2,250	Δ3.6%	1,997	Δ3.9%
海上	632	5.2%	575	8.4%	57	Δ18.5%
傷害	2,086	2.4%	1,494	2.5%	592	2.2%
自動車	14,395	1.9%	6,912	1.1%	7,483	2.6%
自賠責	2,792	Δ7.1%	1,447	Δ8.0%	1,345	Δ6.1%
その他	4,437	5.0%	3,021	5.4%	1,416	4.2%
合計	28,590	0.6%	15,700	0.7%	12,890	0.6%
除く家計地震・自賠責	25,794	1.6%	14,250	1.6%	11,544	1.4%

(ご参考) 国内損害保険会社（2021年度業績予想）主要2社の概要 2

EI損害率

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保(単体)	
		前期比		前期比		前期比
火災	72.3%	Δ13.9pt	71.0%	Δ14.5pt	73.8%	Δ13.1pt
海上	57.5%	Δ0.4pt	57.4%	1.2pt	58.7%	Δ12.7pt
傷害	53.8%	3.4pt	53.1%	4.4pt	55.4%	0.5pt
自動車	57.3%	2.9pt	58.1%	2.2pt	56.7%	3.7pt
その他	57.1%	Δ4.1pt	55.1%	Δ6.0pt	61.4%	0.2pt
合計(除く家計地震・自賠責)	59.5%	Δ1.0pt	59.0%	Δ1.8pt	60.2%	0.1pt
(除く自然災害影響)	56.3%	Δ0.8pt	56.6%	Δ1.3pt	56.0%	0.0pt

※ インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアーンズ(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカードロスの合計から2018年度発生自然災害に係るキャットボンド回収額を控除したものの

(ご参考) MS Amlin2021年度(2021年1-12月期)業績予想※1

- ・グループ修正利益は、前期比+278百万ポンドの13百万ポンド。
- ・グループ修正利益の年初予想比△143百万ポンドは、当年度大口自然災害ロスの増加(△105百万ポンド)、新型コロナロスの増加(△46百万ポンド)、事業費の減少等。

	2020年度	2021年度 (年初予想)	2021年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
正味収入保険料	2,681	2,923	2,727	46	△ 196
アード保険料	2,937	2,848	2,614	△ 323	△ 234
インカードロス(含む損害調査費)	2,196	1,760	1,766	△ 430	6
保険引受利益	△ 277	60	△ 99	178	△ 159
資産運用損益※2	144	99	99	△ 45	0
その他損益※3	△ 99	△ 87	△ 79	20	8
当期純利益	△ 222	79	△ 65	157	△ 144
グループ修正利益	△ 265	156※4	13※4	278	△ 143

- ※1 MS Amlin各社の業績予想の合算値
 ※2 MS Amlinは有価証券の時価変動を損益に反映させる会計処理方法を採用
 ※3 保険事業会社以外で生じる経費等
 ※4 2020年度に連結決算上追加計上した北米寒波ロス影響の戻入+69百万ポンドを含む

当年度大口自然災害ロスの増加△105百万ポンド
 新型コロナロスの増加△46百万ポンド等

この資料では、社名表示に次の略称を使用している箇所があります。

- ・ MS&ADホールディングス、持株会社 (＝MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス(株))
- ・ MS&AD (＝MS&ADインシュアランス グループ)
- ・ 三井住友海上、MS (＝三井住友海上火災保険(株))
- ・ あいおいニッセイ同和損保、AD (＝あいおいニッセイ同和損害保険(株))
- ・ 三井ダイレクト損保、MD (＝三井ダイレクト損害保険(株))
- ・ 三井住友海上あいおい生命、MSA生命 (＝三井住友海上あいおい生命保険(株))
- ・ 三井住友海上プライマリー生命、MSP生命 (＝三井住友海上プライマリー生命保険(株))
- ・ MS Amlin (＝AUL、AAG、AISE、ACSを主とする各事業の合計)

AUL(＝MS Amlin Underwriting Limited)
 AAG(＝MS Amlin AG)
 AISE(＝MS Amlin Insurance SE)
 ACS(＝MS Amlin Corporate Services Limited)

「グループ修正利益、修正純資産、グループ修正ROE」の定義

グループ修正利益 = 連結当期利益 + 異常危険準備金等繰入・戻入額 - その他特殊要因（のれん・その他無形固定資産償却額等）+ 非連結グループ会社持分利益

修正純資産 = 連結純資産 + 異常危険準備金等 - のれん・その他無形固定資産

グループ修正ROE = グループ修正利益 ÷ 修正純資産（期初・期末平均）

予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS & ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

お問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
広報・IR部

TEL: 03-5117-0311

URL: <https://www.ms-ad-hd.com/ja/ir/contact.html>